

昭和49年度 和歌山県文化功労賞

いけ だ ゆき お
池 田 幸 雄

住 所：東京都世田谷区

出 身 地：和歌山県

生 年：明治42年

◎業績及び経歴

昭和8年京都帝国大学法学部を卒業後、日本放送協会に勤務、業務局長、総務局長を経て、昭和31年日本放送協会理事に就任、その間全国でも一、二のテレビ難視聴県である和歌山県に57箇所におよぶUHF中継局、共同受信施設の建設に貢献され、現在ほとんどの地域でNHKテレビが受信できるようになっている。

また、紅白歌合戦、全国のだ自慢大会等の番組を発案され、放送文化の普及と振興に寄与した。

そのほか、文化会館の建設、催しものの企画等には在任中の経験を生かし積極的に参画協力され、和歌山県文化の振興に尽くされている。

昭和38年からは、NHK相談役のほか、日比谷スタジオ株式会社、株式会社東京スタジオセンター社長としても活躍されている。